

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯内療法学			学年	2年 52期生
担当者				期別	1年後期～2年前期
単位数	1単位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	4時間 × 4回			専任・兼任	兼任
実務経験	九州大学歯学部での臨床経験を有する教員が、教育と臨床の経験を活かして、歯内療法学について講義する。				
一般目標 (GIO)					
歯内療法学は臨床歯学の根幹となる重要な一分野であり、歯の硬組織、歯髄ならびに根尖歯周組織疾患の原因と症状、診断および治療法を理解する。これにより、歯の機能を保持し、口腔ならびに全身の健康維持に寄与することを目指す。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	3	13	3	硬組織疾患と歯髄疾患	硬組織疾患と歯髄疾患の原因と症状を列記し、診断および治療法について説明できる。
2			4	〃	〃
3	4	23	3	根尖歯周組織疾患	根尖歯周組織疾患の原因と症状を列記し、診断および治療法について説明できる。
4			4	〃	〃
5	5	14	3	根管治療と根管充填	根管治療と根管充填の術式および使用器具について説明できる。
6			4	〃	〃
7	5	24	3	外科的歯内療法	外科的歯内療法の種類を列記し、治療法および使用器具について説明できる。
8			4	〃	〃
9					
10					
11					
12					
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	80%				エンドドンティクス 第4版 永末書店 2015年
平常点	10%				
	10%				
	%				

1限目 (9:00～10:30)

2限目 (10:40～12:10)

3限目 (13:00～14:30)

4限目 (14:40～16:10)

科目名	歯周治療学			学年	2 年 51 期生
担当者				期 別	前期
単位数	2 単 位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	4 時間× 8 回			専任・兼任	兼任
実務経験	歯周治療の実務経験を有する教員(歯科医師)が、歯周病及び歯周治療の内容を講義し、それに関わる衛生士業務を学ぶ講義を担当する。				
一般目標(GIO)					
臨床に直結する歯周治療の基礎知識を習得する。					
正常歯周組織を把握したうえで、歯周病の病態を理解する。					
歯周治療における歯科衛生士としての業務を理解する。					
歯周病と全身疾患との関連性について理解し、患者に解りやすく説明できるようにする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	11	3	歯周病と歯周治療の概要	歯周病と歯周治療の概要を述べる
2		11	4	正常歯周組織の構造	正常歯周組織の構造を図示して、記述する
3		18	3	歯周疾患の分類	歯周疾患を分類する
4		18	4	歯周病と全身疾患との関連性	歯周病と全身疾患を関係づける
5	5	9	3	歯周治療の流れ	歯周治療の流れを説明する
6		9	4	歯周組織検査	歯周組織検査を述べる
7		16	3	歯周基本治療	歯周基本治療を列記する
8		16	4	"	歯周基本治療を説明する
9	6	13	3	口腔衛生指導とSRPの実際	口腔衛生指導の内容を示す
10		13	4	"	SRPのやり方を示す
11		20	3	歯周外科手術	歯周外科手術の種類を列記する
12		20	4	"	歯周外科手術で使用する器具を示す
13	7	4	3	根分岐部病変	根分岐部病変の検査と治療を説明する
14		4	4	歯内歯周病変	歯内歯周病変を説明する
15	7	11	3	口腔機能回復治療、メンテナンスとSPT	メンテナンスとSPTの内容を列記する
16		11	4	歯周治療における歯科衛生士の業務	歯科衛生士業務の具体的内容を説明する
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%		最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 医歯薬出版		新版最新歯周病学 医歯薬出版
	%				歯科衛生士のためのポケット版 最新歯科用語辞典 クインテッセンス出版
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科補綴学	学年	2年 51期生
担当者		期別	前期～後期
単位数	2単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	4時間× 8回	専任・兼任	兼任
実務経験	歯科医師の資格を有し、臨床経験を有する教員が、補綴歯科学について指導する。		

一般目標(GIO)

歯科補綴学の概要を理解する上で必要な基礎知識事項を理解し、補綴歯科治療の実際を修得することである。
また、知識を習得した上で、補綴歯科治療における歯科衛生士の位置づけを理解し、その重要な役割を認識させる目標とする。

概要:補綴歯科治療に関する基礎知識、そして治療の実際を習得することである。

また、知識を習得した上で、補綴歯科治療における歯科衛生士の位置づけを理解し、その重要な役割を認識させることを目標とする。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	7	8	3	補綴歯科治療に関する基礎知識	歯科補綴学に必要な顎口腔機能を説明する。
2		8	4	〃	〃
3		22	3	歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療	高齢者の特徴を理解し、歯の欠損による顎口腔機能の変化について説明する。
4		22	4	〃	〃
5	9	30	3	補綴装置の種類とその構造	補綴装置の臨床的意義について、それぞれの種類・特徴の概要を説明する。
6		30	4	〃	〃
7	10	7	3	補綴歯科治療における検査・診断-歯科衛生士の役割	補綴治療に必要な検査・診断方法について説明できる。
8		7	4	〃	〃
9		21	3	クラウン・ブリッジの治療の実際-歯科衛生士の役割	クラウン・ブリッジの種類を学び、その特徴と適応症、臨床手順・方法を説明する。
10		21	4	〃	〃
11		28	3	有床義歯治療の実際-歯科衛生士の役割	有床義歯の種類を学び、その特徴と適応症、臨床手順・方法を説明する。
12		28	4	〃	〃
13	11	18	3	インプラント治療の実際-歯科衛生士の役割	欠損補綴におけるインプラント治療の位置付けを説明する。インプラント治療の概要を説明する。
14		18	4	〃	〃
15	12	2	3	患者指導・器材の管理	患者に対する各補綴処置後の指導方法などについて説明する。
16	12	2	4	〃	歯科補綴処置における感染予防対策や器材の滅菌・消毒について説明する。
筆記試験			100%	医歯薬出版 歯科補綴	
平常点			%		
			%		

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:40～12:10)

3限目(13:00～14:30)

4限目(14:40～16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科矯正学	学年	2 年 51 期生
担当者		期 別	後期
単位数	2単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	4時間 × 8回	専任・兼任	兼任
実務経験	福岡歯科大学歯学部歯学科および福岡医療短期大学衛生学科の講義・臨床実習を行い、また福岡歯科大学医科歯科総合病院での矯正歯科治療を行っている教員が、歯科衛生士として必要な歯科矯正学についての講義を行う。		

一般目標(GIO)

目的: 歯科矯正学における基礎的知識および臨床的技術、知識の理解を行い、併せて不正咬合に対する保健活動最新の矯正治療について講義する。

目標: 歯科矯正学の基礎、臨床項目の理解、歯科矯正学に興味をもってもらふこと。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	9	3	3	I 編: 矯正歯科治療に関する基礎知識 第1章 矯正歯科治療の概要	矯正治療の目的と意義について理解する。
2			4	第2章 成長発育	頭蓋顎顔面の成長発育について理解する。
3	9	10	3	第3章 正常咬合と不正咬合 ① 正常咬合	正常咬合の概念および成立の条件について理解する。
4			4	第3章 正常咬合と不正咬合 ② 不正咬合	不正咬合の定義について述べる事が出来る。不正咬合の分類法の種類と定義を理解する。
5	9	17	3	第4章 矯正歯科診断	矯正診断の過程を把握する。
6			4	第5章 矯正歯科治療と力	矯正力の性質と固定について理解する。
7	9	24	3	第6章 矯正装置 II 編: 矯正歯科治療の実際 第1章	矯正治療に使用する装置について装置の構造と適応症について理解する。
8			4	第6章 矯正装置 II 編: 矯正歯科治療の実際 第2章	矯正治療に使用する装置について装置の構造と適応症について理解する。
9	10	1	3	第3章 成人矯正、第4章 口腔顎顔面の形成異常と変形	成人矯正および外科的矯正治療について理解する。
10			4	III 編: 第1章 矯正歯科診断にかかわる業務	矯正診断の過程を理解し、業務内容を理解する。
11	10	8	3	第2章 矯正歯科診療時の業務	矯正歯科治療に用いる器材の種類と用途を理解する。
12			4	第3章 矯正歯科患者と口腔保健管理	矯正治療に使用する装置について装置の構造と適応症について把握し、口腔保健管理について理解
13	10	15	3	模型・セファロ分析	矯正診断に用いるセファロ分析の意義について理解する。
14			4	矯正治療の基本手技、矯正装置の取り扱いについて	矯正治療に使用する装置について装置の構造と適応症について理解し、指導内容を把握する。
15	10	29	3	第4章 口腔筋機能療法	口腔習癖と口腔筋機能療法について理解する。
16			4	第5章 器材、資料、文書の管理	矯正歯科治療に用いる器材の種類と用途を理解と文書管理について理解する。
評価基準				教科書	参考書
筆記試験	100%			医歯薬出版 歯科矯正	医歯薬出版 歯科矯正学 第6版
平常点	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	口腔外科学		学年	2 年 51 期生	
担当者			期 別	前期	
単位数	2 単 位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	4時間 × 8回		専任・兼任	兼任	
実務経験	歯科医師として臨床経験を有し、大学病院歯科口腔外科顎講座にて勤務				
一般目標 (GIO)					
口腔・顎顔面領域における各種疾患及び口腔に関連した全身疾患について、基本的な知識を学習し、患者の全身状態を考慮した歯科治療を介助する上で必要な知識を理解する。全身状態の管理を含めた麻酔学と救急蘇生についても学習する。また、口腔外科学診療に際して求められる知識の習得を目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	4	17	1	総論 歯科疾患と関連する全身疾患を中心に口腔外科一般について	歯科疾患と関連する全身疾患に関して理解する。
2			2	顎・口腔領域の先天異常と発育異常 歯の異常、口腔軟組織の先天異常、唇裂・口蓋裂、顎の先天異常と変形について	顎・口腔領域の先天異常と発育異常について理解する。
3	4	24	1	顎・口腔領域の損傷および機能障害 歯の外傷、顎骨骨折、軟組織の損傷について	顎・口腔領域の損傷および機能障害について理解する。
4			2	口腔粘膜の病変(1) 水疱形成、紅斑およびびらん、潰瘍、白斑、色素沈着、それぞれを主徴とする疾患、その他について	口腔粘膜の病変に関して理解し、その特徴を述べることができる。
5	5	8	1	口腔粘膜の病変(2) 粘膜の出血および貧血を主徴とする疾患について	口腔粘膜の病変に関して理解し、その特徴を述べることができる。
6			2	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患 歯周組織の炎症、顎骨および顎骨周囲組織の炎症について	顎・口腔領域の化膿性炎症疾患について理解する。
7	6	12	1	顎・口腔領域の嚢胞性疾患 顎骨内に生じる嚢胞、軟組織に生じる嚢胞について	顎・口腔領域の嚢胞性疾患について理解する。
8			2	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、非歯原性悪性腫瘍前癌病変について	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患について理解する。
9	6	17	1	唾液腺疾患 炎症を生じる唾液腺疾患、唾液腺腫瘍 などについて	唾液腺疾患について理解する。
10			2	口腔領域の神経疾患 顎関節疾患 神経痛、神経麻痺および顎関節症などの顎関節疾患について	口腔領域の神経疾患 顎関節疾患 神経痛、神経麻痺および顎関節症について理解する。
11	7	1	1	歯科治療における歯科麻酔と患者管理、局所麻酔、精神鎮静法 全身状態の評価と患者管理および局所麻酔、精神鎮静法について	歯科治療における歯科麻酔と患者管理、局所麻酔、精神鎮静法 全身状態の評価と患者管理について知る
12			2	全身麻酔、救急蘇生法 全身麻酔および救急蘇生の ABCについて	全身麻酔、救急蘇生法 全身麻酔および救急蘇生について知る
13	7	8	1	口腔外科診療の実際(1)(口腔外科治療の流れ、診察と診断 他) 口腔外科治療の流れ、診察と診断、清潔と不潔、創傷の処置について	口腔外科治療の流れ、清潔と不潔、創傷の処置について理解する。

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	小児歯科学			学年	2 年 51 期生
担当者				期 別	1年後期～2年後期
単位数	2 単 位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	4 時間× 8 回			専任・兼任	兼任
実務経験	大学病院で実務経験のある教員が、小児歯科の講義を行う。				
一般目標(GIO)					
<p>本科目は、根拠や理論に基づいた小児歯科の実践能力を安全・的確に修得するためにその習得に必要な要素である小児歯科学の基礎と臨床を理解し、小児患者の治療時に必要な知識を身につける。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1年後期					
1	2	28	1	小児歯科とは・心身の発育	小児歯科の目的と特徴を述べる。
2		28	2	"	小児の発育について述べる。
3	3	7	1	小児の生理学的特徴・顔面頭蓋の発育	小児の生理的特徴について述べる
4		7	2	"	小児の顔面頭蓋の発育について述べる。
2年前期					
5	4	11	1	歯の発育とその異常・歯列咬合の発育と異常	小児の歯の発育について述べる。
6		11	2	"	小児の歯の発育異常について述べる。
7		16	1	小児の歯科疾患・小児期の特徴と歯科的問題点	小児の歯列咬合の発育と異常について述べる。
8		16	2	"	小児のう蝕について述べる。
9		18	1	小児歯科における治療体系	小児のう蝕予防について述べる。
10		18	2	"	小児の歯周疾患と軟組織疾患について述べる。
11		25	1	小児歯科における治療体系	小児患者の対応法について述べる。
12		25	2	"	小児の歯冠修復について述べる。
13	5	13	1	小児歯科における治療体系	小児の歯内治療について述べる。
14	5	13	2	小児歯科における治療体系	小児の外科処置、歯の外傷について述べる。
15		16	1	小児歯科における治療体系	小児の咬合誘導について述べる。
16		16	2	小児歯科における治療体系	障害者の歯科治療について述べる。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験		100%	医歯薬出版 小児歯科		永末書店、小児歯科
		%			

1限目(9:00～10:30)

2限目(10:40～12:10)

3限目(13:00～14:30)

4限目(14:40～16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	高齢・障害者歯科疾患論		学年	2年 51期生	
担当者			期別	後期	
単位数	2 単位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	4時間× 8回		専任・兼任	兼任	
実務経験	H3～H24年まで福岡歯科大学にて高齢・障害者歯科疾患の講義・実習・研究を行い、H24～開業、現在は市の介護認定審査員を有する教員が、歯科衛生士に必要な高齢障害者歯科疾患についての講義を行う。				
一般目標 (GIO)					
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と障害者の現状を説明できる。障害の種類を説明できる。 ・加齢による身体的・精神的変化と疾患および口腔疾患について説明できる。 ・高齢者と障害者の口腔ケアに対応できる。 ・摂食・嚥下リハビリテーションを理解し対応できる。 					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	9	18	1	高齢社会と健康 高齢者にかかわる法制度	高齢社会について説明できる。 介護保険制度について説明できる。
2		18	2	高齢者の特性 (加齢変化)	高齢者の身体機能の老化について説明できる。 加齢に伴う各器官、各組織の老化について説明できる。
3	10	2	1	障害の概念	障害者の概念について説明できる。ICF、 QOL、ノーマライゼーション、バリアフリーについて説明できる。
4		2	2	障害の種類と歯科的特徴 (1)	精神遅滞 (知的障害) を説明できる。 ダウン症候群と発達障害を説明できる。
5		10	1	高齢者に多い疾患、特有の疾患	高齢者に多い疾患の種類と症状について説明できる。
6		10	2	高齢者に多い口腔領域の疾患 高齢者に特有な口腔疾患	高齢者に多い口腔領域の疾患と特有な口腔疾患について説明できる。
7		16	1	障害の種類と歯科的特徴 (2)	脳性麻痺、筋ジストロフィー、ALSを説明できる。 てんかんと重症心身障害について説明できる。
8		16	2	障害者の歯科治療	障害のある人とのコミュニケーションの方法について説明できる。
9		24	1	高齢者の生活機能の評価 高齢者歯科と臨床検査	高齢者の生活機能の評価する方法を説明できる。 高齢者の状態を把握するのに必要な検査を説明できる。
10		24	2	高齢者の栄養状態 高齢者の薬剤服用	高齢者の低栄養について説明できる。 高齢者の薬剤服用について説明できる。
11	11	6	1	障害者歯科医療と行動調整 医療安全管理と感染予防対策	障害者歯科で用いる行動調整法について説明できる。 医療安全管理と感染予防対策について説明できる。
12		6	2	障害者に対する口腔ケア 障害者の口腔衛生管理	障害者に対する口腔ケアについて説明できる。 障害者の口腔衛生管理について説明できる。
13		20	1	有病高齢者への口腔ケア 要介護高齢者への口腔ケア	有病高齢者への口腔ケアについて説明できる。 要介護高齢者への口腔ケアについて説明できる。
14		20	2	誤嚥と誤嚥性肺炎 在宅訪問診療と在宅での口腔ケア	誤嚥のメカニズムと誤嚥性肺炎について説明できる。 在宅訪問診療と在宅での口腔ケアについて説明できる。
15		28	1	摂食嚥下のメカニズムと評価 嚥下訓練	摂食嚥下のメカニズムと評価方法について説明できる。 嚥下訓練の種類と方法について説明できる。
16	11	28	2	障害別摂食嚥下障害への対応 食事支援と栄養管理	障害別摂食嚥下障害への対応を説明できる。 食事支援と栄養管理について説明できる。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	90%		高齢者歯科 (歯科衛生士教本)		
平常点	10%		障害者歯科 (歯科衛生士教本)		
	%		医歯薬出版		
	%				

1限目 (9:00～10:30)

2限目 (10:40～12:10)

3限目 (13:00～14:30)

4限目 (14:40～16:10)

14			2	口腔外科診療の実際(2)(抜歯術、 歯根端切除術) 抜歯術、歯根端 切除術などの口腔外科小手術に ついて	口腔外科小手術について知る。
15	7	18	3	口腔外科診療の実際(3)(口腔外科 小手術、止血、縫合処 置) 良性腫瘍摘出術、歯槽骨整 形術、小帯切除術、口腔 インプラント手術などの口腔外科小 手術および止血処置、縫 合処置について	口腔外科小手術および止血処置、縫 合処置について知る。
16			4	口腔外科・歯科麻酔の臨床におけ る歯科衛生士のかかわりと口腔外 科で用いる機材について	口腔外科・歯科麻酔の臨床における歯科衛生士のかか わりと口腔外科で用いる機材について理解する。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	80	%	最新歯科衛生士教本 口腔外科		
平常点	20	%	全国歯科衛生士教育協議会 監		
		%			

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

科目名	歯科口腔放射線論			学年	2年 51期生
担当者				期別	前期
単位数	2 単位			講義・実習	講義・実習
時間数・授業回数	4時間× 8回			専任・兼任	兼任
実務経験	大学病院での臨床経験および大学での画像診断学の講義・実習を経験する教員が歯科領域の画像検査について解説する。【福岡歯科大学歯学部画像診断学の講義および実習：30単位】				
一般目標(GIO)					
<p>歯科診療において必須である口内法エックス線撮影法およびパノラマエックス線撮影法の知識と技術を習得する。</p> <p>歯科医療人として標準的な歯科領域の検査法の知識を習得する。</p> <p>エックス線検査のリスクについて理解し、患者への説明ができる。</p>					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	15	3	放射線の基本	放射線の性質や画像形成の基本を理解する。
2		15	4	口内法1(二等分法・平行法)	二等分法・平行法の撮影法、利点、欠点を理解する。
3		24	3	口内法2(咬合法・咬翼法)	咬合法・咬翼法の撮影法、利点、欠点を理解する。
4		24	4	パノラマエックス線撮影法	パノラマの撮影法、利点、欠点を理解する。
5	5	20	3	その他の口外法	セファロ、Watersなどの口外法を理解する。
6		20	4	エックス線撮影の機材と写真処理	撮影で使用する器材の構造、特徴を理解する。
7		27	3	放射線の人体への影響	放射線の人体への影響を説明できる。
8		27	4	放射線防護	放射線防護の原則および実際について説明できる。
9	6	10	3	撮影実習(パノラマエックス線撮影法)・現像実習	パノラマの撮影ができる。撮影後、画像評価ができる。
10		10	4	撮影実習(パノラマエックス線撮影法)・現像実習	パノラマの撮影ができる。撮影後、画像評価ができる。
11		17	3	撮影実習(二等分法・上顎)・現像実習	口内法(上顎)の撮影ができる。撮影後、画像評価ができる。
12		17	4	撮影実習(二等分法・上顎)・現像実習	口内法(上顎)の撮影ができる。撮影後、画像評価ができる。
13		24	3	撮影実習(二等分法・下顎)・現像実習	口内法(下顎)の撮影ができる。撮影後、画像評価ができる。
14		24	4	撮影実習(二等分法・下顎)・現像実習	口内法(下顎)の撮影ができる。撮影後、画像評価ができる。
15	7	1	3	特殊撮影(CT,CBCT,MRI,US)	歯科領域の特殊撮影について理解する。
16		1	4	歯・歯周組織の画像診断	口内法における基本的な画像診断ができる。
評価基準				教科書	参考書
筆記試験	90%			学建書院	
平常点	10%			わかりやすい歯科放射線学	
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科予防処置論	学年	2年 51期生
担当者		期別	通年
単位数	1単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間 × 8回	専任・兼任	専任
実務経験	九州大学病院での臨床経験を有する。		

一般目標 (GIO)

口腔の基礎知識を習得し、また、症例ごとの口腔の機能を理解し、術者、患者、補助者の立場で目的・情報・知識・手技を習得する。

回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	4	23	1	キュレットスケーラーについて	SRPの基本説明とキュレットスケーラーの構成について述べることができる。
2	5	17	3	キュレットスケーラーの使用部位について	キュレットスケーラーの特異的部位を示すことができる。
3	7	19	3	超音波スケーラー	超音波スケーラーの種類と特徴を理解し、使用法を説明できる。
4				エアスケーラー	エアスケーラーの種類と特徴を理解し、使用法を説明できる。
5				喫煙について	喫煙者に対する指導の方法を説明できる。
6				情報収集の仕方について	患者のアセスメントや既往歴、それに付随する情報収集ができる。
7				シャープニング	キュレットタイプスケーラーのシャープニングについて理解することができる。
8				口腔内撮影法	5枚法と9枚法の撮影目的を理解することができる。
9					
10					
11					
12					
評価基準				教科書	参考書
筆記試験	90%	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論		ビューフレディ スケーラーやキュレットのハンドシャープニングの力	
小テスト	10%	最新歯科衛生士教本 歯周病学			
	%	歯科予防処置 (新歯科衛生士教本)			
	%	ベーシックグレーシーキュレットテクニック			

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科予防処置実習			学年	2 年 51 期生
担当者				期 別	通年
単位数	2単位			講義・実習	実習
時間数・授業回数	2時間×10回/4時間×10回			専任・兼任	専任
実務経験	九州大学病院での臨床経験を有する。				
一般目標 (GIO)					
キュレットスケーラー及び超音波スケーラーを使用し、臨床に即した相互実習を熟練させる。					
術者、患者、補助者の役割を理解し、目的・情報・知識・手技を習得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	5	21	1	キュレットスケーラーの基本動作・操作方法	キュレットスケーラーの挿入・適合・操作を模倣することができる。
2		22	1	マネキンにおけるキュレットスケーラー部位別実習 (下顎前歯部)	キュレットスケーラーにおいて側方圧を感じる事ができる。
3		23	3	マネキンにおけるキュレットスケーラー部位別実習 (上顎前歯部)	キュレットスケーラーにおいて側方圧を工夫することができる。
4	6	10	1	マネキンにおけるキュレットスケーラー部位別実習 (上顎右側臼歯部)	キュレットスケーラーにおいてストロークを実施することができる。
5		11	1	マネキンにおけるキュレットスケーラー部位別実習 (上顎左側臼歯部)	キュレットスケーラーにおいてストロークを工夫することができる。
6		18	3.4	シャープニング	キュレットタイプスケーラーのシャープニングを実施することができる。
7		19	1.2	人工歯石	人工歯石を歯肉縁下に筆積み法で実施する(つける)ことができる。
8	7	3	3.4	相互実習①(下顎前歯部)	超音波スケーラーの種類と特徴を理解し、実施することができる。
9		4	1.2	↓	↓
10			2	マネキンにおけるキュレットスケーラー部位別実習 (下顎右側臼歯部)	キュレットスケーラーにおいて口腔外固定を実施することができる。
11			2	マネキンにおけるキュレットスケーラー部位別実習 (下顎左側臼歯部)	キュレットスケーラーにおいて操作角度を模倣することができる。
12			3.4	相互実習②(上顎前歯部)	キュレットスケーラーにおいて操作角度を実施することができる。
13			1.2	↓	↓
14			3.4	相互実習③(上顎右側臼歯部)	キュレットスケーラーにおいて操作角度を聴診することができる。
15			1.2	↓	↓
16			3.4	実技テスト (前歯部)	指定した前歯部をキュレットスケーラーで正しくスケーリングすることができる。
17			1.2	↓	↓
18			3.4	実技テスト (臼歯部)	指定した前歯部をキュレットスケーラーで正しくスケーリングすることができる。
19			1.2	↓	↓
20			3.4	相互実習④(上顎左側臼歯部)	キュレットスケーラーにおいて操作角度を聴診することができる。

21			1.2	↓	↓
22			3.4	相互実習⑤(下顎右側臼歯部)	キュレットスケーラーにおいて挿入角度を熟練することができる。
23			1.2	↓	↓
24			3.4	相互実習⑥(下顎左側臼歯部)	キュレットスケーラーにおいて的確なスケーリングを実施することができる。
25			1.2	↓	↓
26			3.4	相互実習⑦(超音波スケーラー)	超音波スケーラーの種類と特徴を理解し、実施することができる。
27			1.2	↓	↓
28			1.2	オスキー①	症例に沿った患者を医療面接および予防的歯石除去、保健指導を実施することができる。
29			1	オスキー②	症例に沿った患者の考察を実施することができる。
30					
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	30%	最新歯科衛生士教本	歯科予防処置	ヒューフレディ スケーラーやキュレットのハンドシャープニングの力	
実技試験	60%	最新歯科衛生士教本	歯周病学		
平常点	10%	最新歯科衛生士教本	歯科予防処置(新)		
	%	最新歯科衛生士教本	ベーシックグレーシー	キュレットテクニック	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科保健指導	学年	2 年 51 期生
担当者		期別	通年
単位数	1単位(15時間)	講義・実習	講義・実習
時間数・授業回数		専任・兼任	専任
実務経験	歯科医院での7年の臨床経験と3年間のケアマネージャーとしての実務経験を有する教員が、歯科保健指導に必要な講義・実習を行う。		

一般目標(GIO)

人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、各ライフステージ別の特徴と望ましい歯科保健行動を理解し、セルフケアの基本となる知識・技術および態度を修得することができる。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				歯科衛生士介入(幼児期)	幼児期の一般的特徴・口腔の特徴・望ましい歯科保健行動を説明することができる。また齲蝕罹患型を理解することができる。
2				歯科衛生士介入(幼児期の栄養)	幼児期の特徴に合った必要な栄養素とその摂取基準を説明することができる。
3				歯科衛生士介入(乳児期～幼児期の口腔清掃)	萌出前から乳歯歯列完成までの口腔清掃の要点と保護者指導に対する指導上の留意点を理解し説明することができる。
4				口腔習癖に起因する不正咬合	乳歯列期にみられる口腔習癖について理解し説明することができる。
5				歯科衛生士介入(学齢期の特徴と食生活指導)	学齢期の一般的特徴・口腔の特徴・望ましい歯科保健行動を説明することができる。学齢期の食生活の特徴を理解し説明することができる。
6				歯科衛生士介入(青年期の特徴と食生活指導)	青年期の一般的特徴・口腔の特徴・望ましい歯科保健行動を説明することができる。青年期の食生活の特徴を理解し説明することができる。
7				歯科衛生士介入(成人期の特徴と食生活指導)	成人期の一般的特徴・口腔の特徴・望ましい歯科保健行動を説明することができる。成人期の食生活の特徴を理解し説明することができる。
8				歯科衛生士介入(成人期)	補綴物・インプラントの保健管理をすることができる。
9				喫煙者に対する指導	喫煙状況のアセスメントを理解し、禁煙ステージに合わせた禁煙指導を理解し説明することができる。
10				口腔機能管理の評価	身体所見のアセスメントを理解しアセスメントすることができる。
11				歯科衛生士介入(老年期の特徴と食生活指導)	老年期の一般的特徴・口腔の特徴・望ましい歯科保健行動を説明することができる。老年期の食生活の特徴を理解し説明することができる。
12				歯科衛生士介入(要介護高齢者の特徴と食生活指導)	要介護高齢者の一般的特徴・口腔の特徴・望ましい歯科保健行動を説明することができる。要介護高齢者の食生活の特徴を理解し説明することができる。
13				歯科衛生士介入(口腔乾燥症)	口腔乾燥症の原因・症状・治療と指導・ケア方法を理解し説明することができる。
14				歯科衛生士介入(障害者の特徴と食生活指導)	障害者の一般的特徴・口腔の特徴・望ましい歯科保健行動を説明することができる。障害者の食生活の特徴を理解し説明することができる。
15				歯科衛生士介入(がん・放射線・周術期等)	治療に伴う口腔粘膜疾患における口腔ケア管理・知識を修得することができる。
16				症例検討(歯垢清掃法)	口腔内写真(症例)から問題点を列記し問題点に対する解決策を述べるすることができる。症例に適したブラッシング方法・清掃用具を選択することができる。

評価基準		教科書	参考書
筆記試験	90%	歯科予防処置論 歯科保健指導論 (医歯薬出版)	歯科衛生士のための摂食嚥下・口腔保健管理 保健生態学・高齢者歯科・障害者歯科・小児歯科・セルフケアの本 ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策⑤(医歯薬出版) 改定歯ブラシ辞典(学健書院)
平常点	10%		
	%		
	%		

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科保健指導(実習)		学年	2年 51期生	
担当者			期別	通年	
単位数	1単位(30時間)		講義・実習	講義・実習	
時間数・授業回数			専任・兼任	専任	
実務経験	歯科医院での7年の臨床経験と3年間のケアマネージャーとしての実務経験を有する教員が、歯科保健指導に必要な講義・実習を行う。				
一般目標(GIO)					
対象者の年齢や環境における、個人および集団にふさわしい口腔衛生指導案を作成し、解釈・分析を行い歯科衛生士計画を立案する能力を養うことを目標とする。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				歯科保健指導相互実習	新入生に対しての指導前に相互での実習を行い流れの確認と指導することができる。
2				新入生に対しての歯科保健指導	新入生に対し、今まで学んだ歯科保健指導の知識・技術で指導を行うことができる。
3					
4				地域歯科保健活動(2年生歯と口の健康週間)	小学校・幼稚園等の集団に対して、染め出し・指導を行うことができる。
5				スクリーニングテスト実習	様々なスクリーニングテストを理解し実施することができる。
6				摂食嚥下障害者の間接訓練実習	様々な間接訓練を理解し説明することができる。
7				基本的な口腔ケア実習(自験・他者)	スポンジブラシを体感し、他者に対して安全・安楽に行うことができる。 口腔リハビリテーションができる。
8					
9				摂食嚥下障害者の口腔ケア(症例1 左麻痺の方の口腔ケア)	在宅歯科医療や介護予防活動で、直接必要な口腔清掃の手段を修得することができる。
10				摂食嚥下障害者の口腔ケア(症例2 口腔乾燥症の方の口腔ケア)	
11				口腔機能管理実習(口腔機能向上プログラム)	集団に対する間接訓練のテーマにそった発表を行うことができる。
12					
13				他科に対しての歯科保健指導実習	他科の医療を目指す学生に今まで学んだ歯科保健指導の知識・技術で指導を行うことができる。
14				口腔清掃実習・歯肉マッサージ実習	医療面接から口腔内観察・染め出し・記録・説明・指導・歯肉マッサージまでの一連の流れがスムーズに行うことができる。
15					
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	60%	歯科予防処置論 歯科保健指導論		歯科衛生士のための摂食嚥下・口腔保健管理 保健生態学・高齢者歯科・障害者歯科・小児歯科・セルフケアの本 ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策⑤(医歯薬出版) 改定歯ブラシ辞典(学健書院)	
平常点	10%	(医歯薬出版)			
チャート	30%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

科目名	歯科診療補助論			学年	2 年 51 期生
担当者	藤野 愛美			期 別	通年
単位数	1 単 位			講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間 × 8回			専任・兼任	専任
実務経験	福岡医療短期大学専攻科で口腔保健学学士を取得後、臨床経験を積み、歯科衛生士に必要な歯科診療補助について講義を行う。				
一般目標(GIO)					
歯科治療における各処置内容を理解したうえで、前準備および治療手順、基本器材の名称、使用目的、使用方法など臨床に必要な知識を修得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				ラバーダム防湿	ラバーダム防湿の特徴、取り扱いについて理解する。
2				スタディモデル・ワックス	診断用模型(スタディモデル)について種類、作製手順、方法、整理法を理解する。 ワックスの特徴を理解する。
3				仮封材・仮着材	仮封材料の取り扱い、操作方法を理解する。
4				口腔外科	口腔外科治療の特徴・術式・使用器材を理解する。
5				保存修復	保存修復治療の特徴・術式・使用器材を理解する。
6				歯内療法・歯周治療	歯内療法・歯周治療の特徴・術式・使用器材を理解する。
7				口腔内写真	口腔内写真撮影を行う上での口腔内写真撮影に必要な基本的知識を習得する。
8				補綴	歯科補綴治療の特徴・手順・使用器材を理解することができる。
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	100%	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 (医歯薬出版株式会社)		最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本歯周病学 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯科機器 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 歯科材料 (医歯薬出版株式会社)	
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	歯科臨床検査法		学年	2 年 51 期生	
担当者			期 別	通年	
単位数	2 単 位		講義・実習	講義・実習	
時間数・授業回数	2 時間× 15 回		専任・兼任	兼任	
実務経験	臨床検査技師・糖尿病療養指導士・細胞検査士の資格を有する教員が、歯科衛生士にひつような臨床検査の講義を行う。				
一般目標(GIO)					
歯科衛生士としてヒトの病態を臨床検査というエビデンスをもって知ることが出来るように、臨床検査の基本的知識と病気を持つ患者に対応する上で必要な態度と技術を修得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1	4	25	4	臨床検査とは	臨床検査の意義と歯科衛生士の役割について説明する。
2	5	23	4	生体検査(体温・脈拍・血圧他)	体温・脈拍・血圧等の意義について説明し測定方法を述べる。
3	6	13	1	生体検査実習(血圧・脈拍)	脈拍・血圧測定の実習を行う。
4		13	2	肝機能検査(尿検査)	腎機能検査(尿検査)と疾患について説明する。
5		27	4	尿スクリーニング検査実習	尿スクリーニング検査(試験紙法)の実習を行う。
6	7	11	1	血液検査	血液を用いる検査の種類と血液学的検査について説明できる。
7		11	2	血液凝固線溶系検査	血液凝固・線溶検査と疾患について説明できる。
8	9	12	1	生化学検査(肝機能検査)	肝機能検査と疾患について説明できる。
9		12	2	免疫・血清学的検査	免疫・血清学的検査と疾患について説明できる。
10		26	4	血液型検査	血液型検査について説明することができる。
11	10	10	3	血液型検査実習	血液検査(ABO式)の実習を行う。
12		10	4	感染症検査・病理検査	感染症検査・病理検査と疾患について説明できる。
13		24	4	貧血と検査	貧血の種類と特徴および検査について説明できる。
14	11	7	1	糖尿病と検査	糖尿病の分類と特徴および検査について説明できる。
15		7	2	血糖自己測定検査実習	血糖自己測定検査の実習を行う。
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	90%		医歯薬出版 臨床検査		
平常点	10%				
	%				
	%				

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

科目名	歯科診療補助実習	学年	2 年 51 期生
担当者		期別	通年
単位数	1 単位	講義・実習	講義
時間数・授業回数	2時間 × 1回 4時間 × 9回	専任・兼任	専任
実務経験	福岡医療短期大学専攻科で口腔保健学学士を取得後、臨床経験を積み、歯科衛生士に必要な歯科診療補助について実習を行う。		

一般目標(GIO)

臨床における各処置内容の理解を深め、歯科治療の補助・介助を安全で適切に行うための技術を修得する。診療における歯科衛生士の役割を理解した上で、患者説明を行うことができる。

回数	月	日	限目	項目	行動目標(SBOs)
1				ラバーダム防湿	ラバーダム防湿の特徴を理解した上で、実施することができる。
2				ラバーダム防湿②	患者の負担軽減を考え、ラバーダム防湿の必要性を理解し、実施することができる。
3					
4				スタディモデル①	診断用模型作製のために、マネキン実習との違いを理解し上下顎印象採得の相互実習することが出来る
5					
6				スタディモデル②	診断用模型作製のために、マネキン実習との違いを理解し上下顎印象採得の相互実習することが出来る
7					
8				仮封材	仮封材料の取り扱い、操作方法を修得する。
9					
10				口腔外科	口腔外科治療の術式に沿って器具・器材を理解し、準備・片づけができる。
11					
12				歯内療法	歯内治療の術式に沿って器具・器材を理解し、準備・片づけ、患者説明ができる
13					
14				歯周治療	歯周治療および歯周外科処置の術式にそって器具・器材を理解し、準備・片づけ、患者説明ができる。
15					
16				口腔内写真	口腔内写真撮影を行う上での基本的知識をもとに、口腔内の状態を明確に記録することができる。
17					
18				補綴	歯科補綴治療の流れを理解し、準備・片づけ、患者説明ができる。
19					
評価基準				教科書	参考書
実技試験	70%	最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 (医歯薬出版株式会社)		最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法 (医歯薬出版株式会社) 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 (医歯薬出版株式会社)	
実習点	20%			最新歯科衛生士教本歯周病学 (医歯薬出版株式会社)	
レポート点	10%			最新歯科衛生士教本 歯科機器 (医歯薬出版株式会社)	
	%			最新歯科衛生士教本 歯科材料 (医歯薬出版株式会社)	

1限目(9:00~10:30)

2限目(10:40~12:10)

3限目(13:00~14:30)

4限目(14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	麻酔・救急蘇生法		学年	2 年 51 期生	
担当者			期別	後期	
単位数	1 単 位		講義・実習	講義	
時間数・授業回数	4 時間× 4 回		専任・兼任	兼任	
実務経験	歯科麻酔の臨床経験を有する歯科医師が基本知識と方法等を講義する。				
一般目標 (GIO)					
歯科で用いる局所麻酔法、精神鎮静法、全身麻酔法、局所麻酔法について理解し、安全な歯科治療を行うために必要な全身疾患と救急蘇生の基本的知識を修得する。					
回数	月	日	限目	項目	行動目標 (SBOs)
1	9	30	1	局所麻酔法	局所麻酔法の目的、薬剤の種類、使用法を説明する。
2		30	2	精神鎮静法	精神鎮静法の目的、薬剤の種類、使用法を説明する。
3	10	7	1	全身麻酔法	全身麻酔法の目的、薬剤の種類、使用法を説明する。
4		7	2	バイタルサイン	バイタルサインの種類を説明する。
5		21	1	歯科治療と全身状態の変化	歯科治療中の全身状態の変化を説明する。
6		21	2	全身疾患への対応	歯科治療に影響を及ぼす全身疾患と対応を説明する。
7		28	1	歯科における偶発症と対応	歯科治療時に起こりうる偶発症について説明する。
8		28	2	救急蘇生の目的と方法	救急蘇生の目的と方法を説明する。
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価基準			教科書		参考書
筆記試験	90%		医歯薬出版		
平常点	10%		口腔外科・歯科麻酔		
	%				
	%				

1限目 (9:00~10:30)

2限目 (10:40~12:10)

3限目 (13:00~14:30)

4限目 (14:40~16:10)

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	臨床実習	学年	2 年 51 期生
単位数	6単位(270時間)	評価基準	実習状況 100%
実習計画			
<p>1 実習期間</p> <p>①解剖実習見学 令和元年12月4日(水)(1日)</p> <p>②九州大学病院実習 令和2年1月20日～3月18日(7H×41日間)(予定)</p> <p>2 実習目標</p> <p>①講義で学んだ知識をもとに歯学部で実施されている解剖実習の遺体を観察し、人体の構造の認識と理解を深め臨床に活かす。また解剖学・組織発生学の知識とともに統合的に人体の正常構造を理解し基礎医学・臨床医学の基本を理解しつつ、生命と死、献体の意義を考え、医の倫理について各自が意識し考えることができる。</p> <p>②大学病院各科で専門性を生かした高度な実践教育を行い、基礎実習で学んだ知識や技術を臨床の場であらゆる場面で応用できる技術を身につけることができる。また、歯科医療従事者としての認識を持ち必要な知識・行動を身につけ、医療の現場において、他職種と協働する能力を身につけることができる。</p> <p>3 実習項目</p> <p>②(1) 歯内治療科 (2) 歯周病科 (3) 咬合補綴科 (4) 義歯補綴科 (5) 矯正歯科 (6) 口腔総合診療科 (7) 高齢者・全身管理歯科 (8) 顎顔面口腔外科 (9) スペシャルニーズ歯科・小児歯科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科オリエンテーション ・清潔・不潔域の区別 ・治療開始前の準備と治療後の片付け ・各科での必要な器具・器材の準備、診療補助の方法 ・各種器材・薬剤・材料の特徴と使用法 ・患者さんへの対応 ・口腔衛生指導の手順やポイント ・診査(PCR)・TBI・歯面研磨 ・インプラント手術見学 ・メンテナンス ・プロービング・スケーリング・PMTTC ・有病者の歯科治療 ・口腔ケア支援のための病棟往診見学 ・術前後に患者に対して行う説明と指導 			

平成31年度 九州医療専門学校 歯科衛生士科

科目名	臨地実習	学年	2 年 51 期生
単位数	1単位(45時間)	評価基準	実習状況 100%

実習計画

- 1 実習期間 令和元年5月28日～6月6日(8日間)
 歯と口の健康週間 幼稚園・保育園・小学校(低学年・中学年・高学年)
- 2 実習目標 今後、各ライフステージに合わせた公衆衛生活動の計画・立案が出来るようになるために
 園児・児童等への歯磨き指導実習を通して、その能力を修得する。
- 3 実習項目
 - ・園児・児童とのコミュニケーション
 - ・ライフステージに合わせた口腔保健指導
 - ・ライフステージに合わせた歯科保健指導案の作成
 - ・歯と口の健康週間に関する知識
 - ・指導教材の作成および活用
 - ・年齢に応じたう蝕予防法
 - ・普及啓発